

# 環境通信

ENVIRONMENT

問い合わせ先 環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202

## 環境のことを考えて エコクッキング

9月19日、ワイパーブルで、省エネ・省資源で料理を作るエコクッキング教室が行なわれました。



### エコクッキングのポイント

- ゴミをなるべくださない
- 短時間で加熱できるよう工夫する
- 洗いや後片付けのときはため洗いを



これが10人分のシチューとゴーヤチャンプルーから出た生ごみです

## 次回開催予定

- とき 12月19日(木) 午前9時30分～午後0時30分
- ところ ワイパーブル調理室
- 定員 20人
- 参加費 無料
- 申込期限 12月10日(火)
- 定員になり次第、締め切り

## 申し込み・問い合わせ先

NPPO法人くまもと温暖化対策センター  
☎(356)4840

## 燃やすごみの量を減らしましょう

### 家庭から出る燃やすごみの量 (一人1日あたり)



平成24年度4月～7月は490g

※ごみ排出量については、東部清掃工場に収集車で搬入されるごみと直接搬入されるごみの量です。可燃性粗大ごみは含んでいません。

## プラスチック類(資源物J)の分別にご協力ください

プラスチック類(☑マーク)の付いている物のほか、感熱紙レシート、ジュースや洗剤の入っていた紙パック、ポリバケツなどもプラスチック類として分別します。最近、食べ残しの弁当や汚れたプラスチック類、液体が残ったままの容器が出されています。

これらの違反ごみは、きれいに分別されたプラスチック類を汚してしまい、資源物としてリサイクルできなくなります。

ごみ袋に入れる前にもう一度確認し、中身が入った物は中身をだして、汚れているものはきれいに汚れを落として出してください。汚れが落ちないものは、「燃やすごみ」に出しましょう。



## 公共団与最終処分場の名称を募集します

県民の生活と県内の経済活動を支えるため、玉名郡南関町に産業廃棄物の最終処分場(クローズド・無放流型)を整備しています。地域の皆さんから愛され、覚えてもらえるような名称を募集します。

### 応募資格

誰でも応募できます  
個人・法人を問いません

### 応募方法

氏名・住所、電話番号を記入し、Eメール info@kksj.jp、FAX、または郵便で「応募ください」。

### 募集期限

12月31日(火)まで

### 賞品

抽選で2人に、南関町、和水町の特産品(1万円分)をプレゼントします。

### 応募・問い合わせ先

県公共団与推進課  
(県環境整備事業団)  
〒862-18570  
熊本市中央区水前寺  
6丁目18-1  
☎(333)2279  
FAX(383)7680

## 素敵な人生 素敵なパートナー

市男女共同参画推進懇話会委員

中村 寛子

私の生家は、父は勤め、母は専業主婦でした。父は家事に手出しすることはなく、家事一切は母がやっていました。母が「女も経済的に自立するよう、仕事を持ちなさい」「仕事をしているからと、後ろ指を指されないように、家のことはきちんとしなさいよ」と言っていた言葉を、何の疑いもなく受け止めて、私の結婚生活はスタートしました。

当然のこととして、家庭責任一切は私が担っていました。当時、私たちは山奥のへき地校に勤めており、学校の近くに住んでいました。車の運転ができない私の行動範囲は限られ、家の中のことや、持ち帰った仕事をする時間は十分で、張り切っていましたし、健康で無理もききました。

今思えば、この「いびつ」な夫婦関係に気づき、おかしいと思い始めるまで10年かかり、そして築き直すのにまた10年かかりまし

た。知らず知らずに刷り込まれた意識を変えろということがどれだけ難しいかと実感しています。

今、学校では男女を分けない名簿が使われていますが、私たちが育ったころは、男子の名簿の次が女子の名簿でした。出席は毎日男子が先に呼ばれ、次に女子。靴箱もかばん棚も名簿順になっているから男子が先(上)で女子が後(下)というように。たかが名簿ですが、学校では名簿順というのによく使われるのです。そして、「男が先で、その後が女」と暗黙のメッセージを送り続けるのです。

他にも、集会で話すのは男の人ばかりにならないようにとか、責任ある立場の女性を増やすとか、少し心の端に留めてほしいと思います。常日ごろ目にする光景が、意識を育てることを思えば、子どもたちの(大人も)目に映る風景が大切だと思っています。

## こうし 歴史発見

第52回

### 合志市内の学校⑨ 西合志東小学校

旧西合志町の人口は、昭和41年の町制施行時には9,304人でしたが、昭和40年代の後半から毎年5%前後ずつ増え、55年には16,808人となりました。このような人口増に対処するため、翌56年には西合志南小学校の分離が検討され、58年に総事業費約9億円をかけた西合志東小学校が開校しました。55年に開校した西合志南中学校の道向かいになります。開校当時は17学級、570人であった児童数は、平成5年には739人、平成25年度は35学級、1,070人となり、菊池教育事務所管内では最大、県下でも五指に入る大規模校となりました。

開校した昭和58年にはプールも完成し、60年までに環境整備も完了しましたが、当学区の児童数の増加に対応するため、62年には早くも校舎の増築を行いました。



西合志東小学校

校訓に「元気いっぱい 温もりのある 誇れる西合志東小学校」を掲げ、人間尊重の精神を基盤にし、心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成を目指した教育が日夜営まれています。

通学区は、黒石・御代志・新開・九州沖縄農業研究センター・再春荘・菊池恵楓園・黒石団地・天使園・東須屋・陽光台です。本年4月末の通学区内の世帯数は4,187世帯、人口は11,731人となっていて、本市の人口の約5分の1を占め、単純に計算すると通学区内の10人に1人は小学生ということになります。